

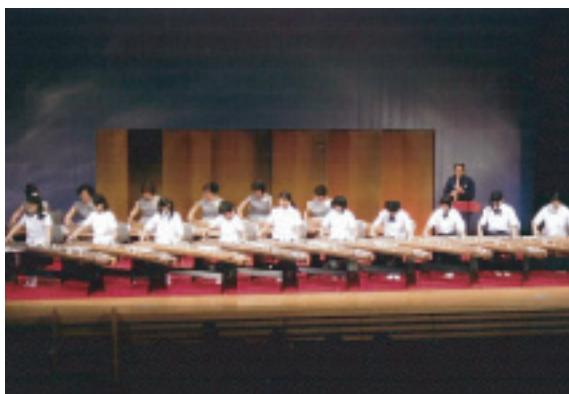
活動名	団体名	邦楽グループ 城友会
文化伝承邦楽「箏」の伝承指導	地 域	広島県豊田郡
	代 表 者	代表 宗廣 八江美
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>日本文化の代表「邦楽 箏」の伝承指導 日本文化伝承の低迷する現状において、私達、城友会は町内の子ども達に「箏」の伝承指導を東野小学校と協議のうえ取り組んでまいりました。 この活動も11年となり4年生になれば総合学習の授業で「箏」を習うという意識が定着いたしました。 学校の希望は練習成果を町内の老人福祉施設へ演奏訪問することで「福祉の心」も育む教育を併せて取り組んでいます。 4年生終了後も希望者は自主練習に参加することで高度な「曲」に挑戦できるように個人指導にあたっています。 成果として、学習発表会にとどまらないで、町内文化協会・文化祭・敬老会等に自信を持って参加。継続練習をすることで上達が目に見え、やる気が伺えた。</p>		
<p>◆実施時期：・4年生授業毎週金曜日（13名） 午後2時～3時30分 ・自主練習 火曜日（6名） 午後3時30分～5時30分 土曜日（10名） 午後1時～17時</p>		
<p>◆参加人数：東野小4年生 13名 × 16回 = 208名 自主練習（登録者） 10名 × 91回 = 382名（毎回全員参加ではない） 参加総人員 560名</p>		



《敬老会》



《練習風景》



《発表会》



《支援助成決定》

◆活動が地域・社会に与えた影響

発表会の度に関係者からお褒めの言葉をいただきますが、10余年の活動を通して私達自身のグループが元気でなくては今後の継続指導は困難です。

経費も嵩む事業ですから私たちが感謝されるというのではなく、皆さんから声かけをいただくとやはり「マツダ財団」の支援があって私達の活動が發揮できていると改めて感謝を啓発。

今年初めて東野小学校が地域で支援をいただいている皆さんを招待して感謝の気持ち「ありがとうの会」を行いました。参加してみて多くの地域の皆さんが児童に関わって「昔の遊び」「環境」「安全」等々の指導に関わっているのが判りました。

◆苦労した点

①予算

- ・小4年生総合学習の授業指導と希望者の特別指導において参加費を取らないで進めてきましたので、維持管理費に無理が出ました。併せて、発表会の回数、参加者数が増えることで箏の借り上げに課題が残りました。

②外部へのPR

- ・広報チラシを作成。文化祭展示場・発表会等で配布啓発に努めました。

③参加者

- ・年度初めに小学校と協議計画をたてました。
- ・児童数が年々減少のため、自主練習参加希望者が少ない。

④地域の理解

- ・児童への指導も11年を迎え、また、発表会の都度「マツダ財団」の支援を頂き指導にあたっていることを啓発し、充分理解が得られているものと思われます。

◆今後の課題・発展の方向性

課題

- ・箏の面数が限られており、中には古くなった箏も多くなり音色が割れていった音色で伝えることが難しい。
- ・子ども達が個々の家庭で「箏」を持たないので、指導日数が多く大変である。
- ・同じ練習量でも個人差があり、全員を発表会に同じ曲で参加させるのに大変である。

発展の方向性

- ・現在は4年生を対象にスタートしていますが、年々児童も減少していますので希望者は自主参加者を募り低学年から指導にあたり継承に努めたい。

◆活動を終えての感想・意見等

日本の文化が忘れかけられている今日、財政面で「マツダ財団青少年健全育成事業」のご支援をいただき、一般的に習得する機会が少ないと思われる邦楽「箏」を、小学校と協議の上指導できましたこと感謝申し上げます。

本年度から中学校は音楽の授業で「箏」の学習を取り組まれなくてはとのことで、中学校は本年度より統合されましたので、東野小卒の生徒はみんな自信を持って演奏できているそうです。(^^♪

私たち「邦楽グループ 城友会」は「マツダ財団青少年健全育成事業」を3回もご支援頂き今回が最後となりましたが、お蔭様で今までの事業推進で活動も充実して参りました。

今後、児童が少なくなりますます地域の支援が大切ではないかと思います。

社会情勢の厳しい中ご支援いただきましたこの活動を次年度も続けてまいります。